

友だちと笑顔で再会

市内の小中校で学校再開

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から休業していた市内32校の小中学校が、5月25日から再開しました。

このうち北方小学校(成瀬陽子校長、児童183人)では、学校再開日初日に校内放送で感染拡大防止に向けたルールや注意点を説明。手洗い、消毒、教室の換気の徹底や朝の体温測定などが呼び掛けられました。6年生の瀬川宗平くんは「またみんなに会えてうれしい。学校が再開したので、休んでいた分を取り返せるように、勉強を頑張っていきたい」と学校再開の喜びと意気込みを話しました。



市では、今後も子どもたちや保護者が安心して学校生活を送れるよう、感染拡大防止対策を徹底していきます。

新型コロナ対策学ぶ

学校での感染リスク確認

「児童生徒等の感染防止対策に係る研修会」は4月30日、市役所庁舎議場で開かれ、市内小中学校の校長、教頭、養護教諭、幼稚園長など約110人が参加しました。

研修会は、東北医科薬科大学医学部感染症学教室特任教授の賀来満夫先生を講師に招き、「新型コロナウイルス感染症—現状と対策—」と題して講義。新型コロナウイルスに関する正しい知識や学校再開に向けて、児童生徒の感染防止対策や学校現場で確認しておきたい3密回避の具体的な方法、児童生徒、教職員の健康管理と学校の環境管理の重要性などを学べる機会とあって、参加者は真剣に聞き入っていました。



新型コロナ感染症予防対策として、議場での受講は小中学校の校長に限定し、教頭などは別会場で中継により受講しました。

感染症収束に向けて

コロナ対策へ寄付を受領

新型コロナウイルス感染症対策にかかる市への寄付を紹介します。いただいた寄贈品や寄付金は、感染症対策として、有効に使わせていただきます。



贈呈日	氏名(団体名)	内容
4/27	匿名個人	マスク9枚
4/28	金山産業	マスク1,000枚
4/30	TKC(宇都宮市)	現金2,000,000円
5/1	グローバルワーク	マスク1280枚
	一関信用金庫(一関市)	現金1,000,000円
5/7	匿名個人	マスク3枚
5/8	佐々木建設	マスク500枚
	自由民主党石越支部	マスク500枚
5/13	エフ・ディ・エヌ(仙台市)	次亜塩素酸水100%
5/14	匿名個人	マスク500枚、消毒用ハンドジェル8本、マスクフィルター100枚
5/15	テクノケアサービス	マスク5,000枚
	三浦 武好(春日部市)	マスク1,200枚

贈呈日	氏名(団体名)	内容
5/20	石越醸造	高濃度アルコール240本(500ml/本)
	アベ美装	現金100,000円
	ジェイマックシステム(仙台市)	マスク3,000枚
	東日本メディカルシステム(仙台市)	フェイスシールド20個
5/21	登米地区更生保護女性会	手作りマスク381枚(大人用236枚、子供用145枚)
5/25	VISIT東北(仙台市)	次亜塩素酸水生成剤「KYOSEI-JIA」41袋
	鈴根ファーム	黒にんにく360袋
5/29	宮城県建設業協会登米支部	マスク20,000枚
6/1	医療現場にマスクを送る会	医療用マスク1,000枚
	三光化成	フェイスシールド1,000個
	ヘアサロンエアリー	消毒液200本(500ml/本)
6/3	高周	飛沫感染予防対策用パネル10台
	伊豆沼農産	豚丼弁当20個
6/4	匿名個人	現金100,000円
6/5	三光化成	フェイスシールド1,000個
6/8	匿名企業	医療用マスク2,200枚

患者と医療を守るため

県内初の発熱外来を開設

市は5月11日、市医師会の協力により登米市民病院の敷地内に登米市発熱外来診察室を開設しました。

発熱外来は新型コロナウイルス感染が疑われる発熱患者を他の患者と別の場所で診察することでみんなが安心して医療を受けられるよう、県内で初めて設置。市医師会理事の八嶋徳吉医師は「院内で新型コロナウイルス感染者を診察した場合、院内感染や医療崩壊の恐れがあることと感染の不安がある人が迷わず受診できる施設が必要だと考えていた。発熱患者専門の診察室は、病院と患者の両方を守るために重要な施設になる」と施設の重要性を話しました。



診察にはかかりつけ医の紹介または電話での予約【平日9:00～正午、13:00～14:00 ☎070(6569)4596】が必要です。

地域の交通安全願う

死亡事故ゼロ4千日達成

「死亡事故ゼロ4千日達成表彰式」は5月21日、中津山公民館で開かれ、佐沼警察署(天野英克署長)と市から中津山コミュニティ運営協議会(久保泰宏会長)へ褒状が授与されました。

市では、交通安全対策に顕著な功績があり、市民の模範となる人などを表彰。中津山コミュニティ運営協議会は交通死亡事故連続ゼロ4千日を達成したことにより表彰されました。久保会長は「地域の皆さんが日ごろから交通安全へ高い意識を持ってくれたおかげ。これからも交通マナーについて広く呼び掛けるなどして一層の啓発活動に励みたい」と決意を新たにしました。



今後も地域が一つになって交通安全に取り組み、交通死亡事故ゼロ5千日を目指します。